

子供の学習費調査 附帯調査票（高等学校のみ）

都道府県番号	学校調査番号	学校名	学年	学科番号	整理番号
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

↑保護者調査票に記入されている「都道府県番号」「学校調査番号」「学校名」「学年」「高等学校の学科番号」「整理番号」を転記してください。

以下の項目について、当てはまる番号を1つ選んで（○）で囲んでください。

主たる生計維持者の最終卒業学校（在学中や中途退学した方はその前の卒業学校）をお答えください。

- | | |
|-------------|--------|
| 1 大学 | 4 専門学校 |
| 2 大学院 | 5 高等学校 |
| 3 短大・高等専門学校 | 6 中学校 |

将来、**調査対象となったお子さん**をどの学校段階まで進ませたいですか？

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 大学 | 4 専門学校 |
| 2 大学院 | 5 高校卒業後就職 |
| 3 短大・高等専門学校 | 6 分からない |

調査対象となったお子さんは、11月中（11月3日～30日）に**学習塾**へ通いましたか？

※習字、そろばん等の習い事は除いてください。

上記で「はい」と答えた方にお聞きします。
11月中（11月3日～30日）は、週に平均何回通いましたか？

※自習のために通った場合は除いてください。

- | | |
|-------|---------|
| 1 はい | 2 いいえ |
| 1 週1回 | 5 週5回 |
| 2 週2回 | 6 週6回 |
| 3 週3回 | 7 週7回以上 |
| 4 週4回 | |

○11月中の平均通塾回数の計算方法について

平成26年11月中（11月3日～30日）の週あたりの通塾回数を回答してください。

1日に複数の学習塾へ通った場合は、その箇所数を通塾回数として数えてください。自習のために通った場合は除きます。

（計算例）

- 第1週（3日～9日）火曜、木曜、土曜、日曜に1か所通塾した。→通塾回数は「週4回」
 第2週（10日～16日）火曜と木曜に1か所、土曜に2か所、日曜に1か所通塾した。→通塾回数は「週5回」
 第3週（17日～23日）火曜と木曜に1か所、土曜と日曜に2か所通塾した。→通塾回数は「週6回」
 第4週（24日～30日）火曜と木曜に1か所通塾した。→通塾回数は「週2回」

上記の場合、週あたりの通塾回数は、 $(4回+5回+6回+2回) \div 4(週の数) = 週4回$ となります。
 ※小数点以下の端数がでた場合は四捨五入してください。

ご記入ありがとうございました。**第2回提出**の保護者調査票と一緒に封筒に入れ提出してください。

記入方法

○ この附帯調査票は、**保護者調査票(第2回提出分)**と一緒に封筒に入れて学校へ提出してください。

○ 表面のこの欄に、保護者調査票に記入されている以下の番号などを書き写してください。

→

都道府県番号	学校調査番号	学校名	学年	学科番号	整理番号
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

都道府県番号、学校調査番号、学校名、学年、高等学校の学科番号、整理番号

○ 各設問について、当てはまる番号を1つ選び○で囲んで回答してください。

用語の説明

主たる生計維持者

この附帯調査票においては、昨年1か年間に世帯員の中で最も多く収入を得た者をいいます。

学習塾

進学または補習のために、学校ではなく自宅外で教科の指導を行うものをいいます。

家庭教師、通信添削などの通信教育、習字やそろばん等の習い事は含まれません。

学習塾に通った回数には、自習のために通った回数は除いてください。